



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日
東

上場会社名 株式会社カワタ 上場取引所
 コード番号 6292 URL <http://www.kawata.cc/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 亙
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門統括 (氏名) 橋本 真喜 (TEL) 06-6531-8211
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,296	△10.2	1,368	△27.1	1,378	△27.1	871	△35.0
2019年3月期第3四半期	18,144	23.9	1,877	120.5	1,891	130.3	1,340	77.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 730百万円(△36.3%) 2019年3月期第3四半期 1,145百万円(39.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	123.11	—
2019年3月期第3四半期	189.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	21,990	10,372	46.2
2019年3月期	23,781	9,854	40.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,169百万円 2019年3月期 9,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	14.00	—	15.00	29.00
2020年3月期	—	15.00	—		
2020年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△14.6	1,700	△26.2	1,650	△29.0	1,190	△29.0	168.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	7,210,000株	2019年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	128,221株	2019年3月期	128,221株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	7,081,779株	2019年3月期3Q	7,081,782株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中東の政治情勢等の影響並びに英国の欧州連合(EU)離脱問題等により、先行きは不透明な状況にあります。更に、中国をはじめとする新興国の経済成長率も先進国と比較すると高いものの、その拡大テンポは緩やかになってきました。

わが国経済は、世界経済の景気減速の影響を受け生産や設備投資には足踏みがみられます。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、2019年1～3月は1兆1,070億円(前年同期比8.0%減)、4～6月は1兆1,350億円(同8.5%減)、7～9月は1兆1,246億円(同10.2%減)、10月は3,548億円、11月は3,571億円と、減少傾向が続いております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

しかしながら、当第3四半期における受注高は前年同期比26億3千2百万円減(同13.9%減)の163億6千9百万円、受注残高は前年同期比10億2千6百万円減(同12.8%減)の70億1千8百万円となりました。売上高につきましては、前年同期比18億4千8百万円減(同10.2%減)の162億9千6百万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減策や諸経費の削減等に努めましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少により、営業利益は前年同期比5億8百万円減(同27.1%減)の13億6千8百万円、経常利益は前年同期比5億1千2百万円減(同27.1%減)の13億7千8百万円となりました。

特別損益では、固定資産売却益4百万円を特別利益に、固定資産除売却損1百万円を特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税3億4千9百万円、法人税等還付税額8千1百万円、法人税等調整額2億1千2百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4億6千8百万円減(同35.0%減)の8億7千1百万円となりました。

日本におきましては、国内製造業の設備投資には足踏みが見られたこと等により、売上高は前年同期比5億3千9百万円減(同4.8%減)の107億1千4百万円となりました。損益面では、売上総利益率の低下(28.4%→28.0%)と売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は前年同期比1億3千3百万円減(同9.6%減)の12億5千4百万円、セグメント利益(経常利益)は前年同期比9千9百万円減(同6.8%減)の13億7千3百万円となりました。

東アジアにおきましては、米中貿易摩擦の長期化並びに中国国内での景気の減速等の影響を受け、売上高は前年同期比17億5千9百万円減(同28.2%減)の44億7千6百万円となりました。損益面では、売上総利益率の低下(30.4%→26.6%)と売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業損失が4千7百万円(前年同期は3億3千9百万円の営業利益)、セグメント損失(経常損失)が8千1百万円(前年同期は3億1千9百万円の経常利益)となりました。

東南アジアにおきましては、フィリピンやベトナムなどは引き続き堅調に推移したものの、ASEANの主力であるタイ、インドネシアの需要に足踏みが見られたこと等により、売上高は前年同期比8千9百万円減(同4.6%減)の18億5千5百万円となりました。損益面では、材料費を中心とした原価低減効果による売上総利益率の改善(31.9%→33.0%)および諸経費の削減等により、営業利益は前年同期比2千万円増(同15.3%増)の1億5千3百万円、セグメント利益(経常利益)は前年同期比1千万円増(同7.3%増)の1億5千8百万円となりました。

北中米におきましては、米中貿易摩擦の長期化並びに新NAFTAの批准遅れ等の影響を受け、売上高は前年同期比2千5百万円減(同12.0%減)の1億8千9百万円となりました。損益面では、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等並びにアメリカ現地法人事業立上げに際する諸経費等により、営業損失が4千2百万円(前年同期は1千8百万円の営業損失)、セグメント損失(経常損失)が4千5百万円(前年同期は1千9百万円の経常損失)となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

なお、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、現金及び預金、原材料及び貯蔵品が増加しましたが、受取手形及び売掛金、商品及び製品、仕掛品が減少したこと等により15億1百万円減少し、167億2千7百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物、保険積立金が減少したこと等により2億9千万円減少し、52億6千2百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて17億9千1百万円減少し、219億9千万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、1年内償還予定の社債が増加しましたが、支払手形及び買掛金、短期借入金、未払法人税等が減少したこと等により21億5千2百万円減少し、78億8千1百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、社債、長期借入金が減少したこと等により1億5千6百万円減少し、37億3千6百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて23億9百万円減少し、116億1千8百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金が増加したこと等により5億1千7百万円増加し、103億7千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中東の政治情勢等の影響並びに英国の欧州連合(EU)離脱問題等により、先行きは不透明な状況にあります。わが国経済も、世界経済の景気減速の影響を受け生産や設備投資には足踏みがみられます。また急激な為替・株価の変動に伴う影響が懸念される状況であります。

このような環境下ではありますが、当社グループにおきましては、コアビジネスにおける更なる競争力強化、グループ内での連携強化、新規販売分野・地域の開拓・拡大のスピードアップ等、重点施策を着実に実行し年度計画の達成に注力してまいります。現時点におきましては、2019年5月13日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,497,842	4,873,269
受取手形及び売掛金	9,553,919	7,939,576
商品及び製品	1,053,783	999,713
仕掛品	1,299,225	1,117,698
原材料及び貯蔵品	1,373,935	1,434,602
その他	507,982	437,138
貸倒引当金	△57,700	△74,441
流動資産合計	18,228,987	16,727,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,331,315	2,165,068
土地	1,399,322	1,395,508
その他(純額)	528,329	551,221
有形固定資産合計	4,258,967	4,111,798
無形固定資産		
その他	412,366	396,146
無形固定資産合計	412,366	396,146
投資その他の資産		
その他	883,937	756,352
貸倒引当金	△2,422	△1,512
投資その他の資産合計	881,514	754,840
固定資産合計	5,552,848	5,262,785
資産合計	23,781,835	21,990,342
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,369,809	2,756,312
短期借入金	3,616,436	3,445,085
1年内償還予定の社債	37,500	137,500
未払法人税等	417,072	134,201
製品保証引当金	113,936	92,020
役員賞与引当金	63,050	—
その他	2,416,493	1,316,702
流動負債合計	10,034,298	7,881,823
固定負債		
社債	293,750	156,250
長期借入金	2,516,771	2,459,044
役員退職慰労引当金	200,242	99,996
退職給付に係る負債	780,954	800,251
その他	101,622	220,929
固定負債合計	3,893,341	3,736,471
負債合計	13,927,639	11,618,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	7,449,372	8,108,755
自己株式	△43,670	△43,670
株主資本合計	9,452,235	10,111,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,802	129,143
為替換算調整勘定	133,386	△71,385
その他の包括利益累計額合計	233,188	57,758
非支配株主持分	168,772	202,671
純資産合計	9,854,196	10,372,047
負債純資産合計	23,781,835	21,990,342

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	18,144,775	16,296,518
売上原価	12,404,576	11,426,063
売上総利益	5,740,198	4,870,454
販売費及び一般管理費	3,863,080	3,501,963
営業利益	1,877,118	1,368,491
営業外収益		
受取利息	7,476	6,440
受取配当金	9,117	9,188
為替差益	43,939	—
保険解約返戻金	11,376	42,243
その他	18,811	48,377
営業外収益合計	90,721	106,251
営業外費用		
支払利息	63,724	58,339
為替差損	—	18,022
その他	12,576	19,774
営業外費用合計	76,301	96,136
経常利益	1,891,538	1,378,606
特別利益		
固定資産売却益	1,449	4,018
特別利益合計	1,449	4,018
特別損失		
固定資産除売却損	2,164	1,613
特別損失合計	2,164	1,613
税金等調整前四半期純利益	1,890,823	1,381,011
法人税、住民税及び事業税	449,432	349,857
法人税等還付税額	—	△81,151
法人税等調整額	81,228	212,512
法人税等合計	530,660	481,218
四半期純利益	1,360,162	899,793
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,340,767	871,835
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,395	27,957
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,023	29,341
為替換算調整勘定	△156,168	△198,829
その他の包括利益合計	△214,191	△169,488
四半期包括利益	1,145,970	730,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,124,410	696,405
非支配株主に係る四半期包括利益	21,560	33,899

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	10,250,027	5,777,408	1,912,004	205,334	18,144,775	—	18,144,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,003,867	458,839	32,844	10,036	1,505,588	△1,505,588	—
計	11,253,894	6,236,248	1,944,849	215,371	19,650,364	△1,505,588	18,144,775
セグメント利益又は 損失(△)	1,472,770	319,532	147,875	△19,893	1,920,284	△28,746	1,891,538

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,920,284
セグメント間取引消去	△28,746
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	1,891,538

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	10,134,829	4,142,785	1,838,372	180,531	16,296,518	—	16,296,518
セグメント間の内部 売上高又は振替高	579,321	333,728	16,989	8,993	939,032	△939,032	—
計	10,714,150	4,476,513	1,855,361	189,524	17,235,551	△939,032	16,296,518
セグメント利益又は 損失(△)	1,373,115	△81,864	158,649	△45,141	1,404,758	△26,152	1,378,606

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,404,758
セグメント間取引消去	△26,152
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	1,378,606

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	9,366,708	△3.8
東アジア	3,983,569	△25.9
東南アジア	710,694	△12.1
合計	14,060,972	△11.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は販売価格によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	10,655,329	0.6	4,823,482	11.6
東アジア	4,138,143	△31.6	1,820,827	△39.5
東南アジア	1,496,606	△29.7	355,323	△41.6
北中米	79,378	△66.0	18,769	△82.1
合計	16,369,458	△13.9	7,018,403	△12.8

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	10,134,829	△1.1
東アジア	4,142,785	△28.3
東南アジア	1,838,372	△3.9
北中米	180,531	△12.1
合計	16,296,518	△10.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。